



【取組内容】

- 味の素(株)九州事業所がアミノ酸を製造する過程で発生する **栄養分豊富な副生バイオマスの乾燥方法を、重油の使用から、堆肥への混合に変更。** 年間600キロリットルの **重油の不要化に貢献。**
- 約60の農業団体・各業者等が連携し、製造された **堆肥を使用して生産した野菜・果物** は、価値の向上が見込まれる事がわかり、「九州力作野菜」® 「九州力作果物」® として **高付加価値化して販売。**
- 発酵関係業者、堆肥製造業者、農家、卸売り業者、小売り業者等、 **多くの事業者が連携。**
- 「環境大臣賞」受賞。代表のイオン九州は、当プロジェクトが評価され、日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」で最高ランク認定。

SDGs実施指針における実施原則 (本アワード評価基準)

普遍性:	地球温暖化抑制に貢献。おいしい農作物の栽培にもつながり、国際社会におけるのロールモデルとなり得る取組。
包摂性:	肥料、農業、卸、小売り及び農業のバリューチェーン全体に関わるステークホルダーが約60社以上連携。九州圏内全体で実施。
参画型:	入口から出口まで、様々な企業等が当事者であり、それぞれがWin-Winの関係となっている。
統合性:	重油不使用によるコストダウンや二酸化炭素排出抑制で経済・環境両面にメリット。九州地域全体で地域循環型農業が構築され、畜産・農業界にとっても画期的なプロジェクトとなった。
透明性と説明責任:	消費者への周知・紹介、報告書の作成。また、年に複数回関係者で現状や今後の課題についての協議を行い取組みを強化。

